

十和田市事務事業評価シート

【事務事業の概要】

整理番号	②-74	実施計画番号	92	事業開始年度	H18
事務事業名	相談支援事業			事業終了年度	
担当課名	福祉課			事務の種類(選択)	自治事務
根拠法令等	障害者総合支援法第77条第3項 十和田市地域生活支援事業に関する条例第3条第1項第1号		関連事務事業		
背景や経緯等	保健・医療・福祉の連携による、相談支援体制の整備に努める。				
事務事業の目的	障害者が安心して暮らすために、日常生活や社会生活を支援する。				
実施状況	財団法人済誠会が運営する相談支援事業所「アSENDハウス」と、社会福祉法人北心会が運営する相談支援事業所「ほほえみ」に委託して実施している。				

【人件費の推移】

		26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
正職員	従事者数(人)	1	1	1
	活動日数(日)	3	3	3
	人件費(千円)	108	108	108
正職員以外(選択↓)	従事者数(人)			
	活動日数(日)			
	人件費(千円)			

【事業費の推移】

		26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
事業費合計(千円)		6,000	6,000	6,000

【指標】

活動指標	活動指標名①		アSENDハウス相談利用者数(延べ人数)			
	計算式等		単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
			人	375	450	450
	活動指標名②		ほほえみ相談利用者数(延べ人数)			
	計算式等		単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
			人	162	170	170
成果指標	成果指標名①		相談利用者数(延べ人数)			
	計算式等		単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
	利用人数/利用目標人数	人	目標値	620	620	620
			実績値	537	620	620
			達成度(%)	87%	100%	100%
	成果指標名②					
	計算式等		単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定

十和田市事務事業評価シート

【担当課による検証】

ポイント		検証(選択)	評価	点数	合計	検証の理由				
妥当性	① 市民ニーズ等から見る妥当性 市民ニーズや時代潮流の変化により、事務事業の役割が薄れていないか	A 薄れていない B 幾分薄れている C 薄れている	A	2	4	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">存在意義の見直しの余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 4</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 当該事業の背景、目的から判断すると、必ずしも目標値を設定した上で実施する事業ではない。相談内容が複雑かつ高度な対応力を必要とするケースが多く、また障害者総合支援法により、相談支援の充実が求められている。 </td> </tr> </table>	存在意義の見直しの余地	0 / 4	当該事業の背景、目的から判断すると、必ずしも目標値を設定した上で実施する事業ではない。相談内容が複雑かつ高度な対応力を必要とするケースが多く、また障害者総合支援法により、相談支援の充実が求められている。	
	存在意義の見直しの余地	0 / 4								
当該事業の背景、目的から判断すると、必ずしも目標値を設定した上で実施する事業ではない。相談内容が複雑かつ高度な対応力を必要とするケースが多く、また障害者総合支援法により、相談支援の充実が求められている。										
② 実施主体である妥当性 行政が実施することが妥当か(民間と競合していないか)	A 妥当である B あまり妥当ではない C 妥当ではない	A	2							
有効性	③ 活動指標から見る有効性 活動指標の実績は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A	2	6	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">成果向上の余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 6</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 当該事業の背景、目的から判断すると、必ずしも目標値を設定した上で実施する事業ではない。相談内容が複雑かつ高度な対応力を必要とするケースが多く、また障害者総合支援法により、相談支援の充実が求められている。 </td> </tr> </table>	成果向上の余地	0 / 6	当該事業の背景、目的から判断すると、必ずしも目標値を設定した上で実施する事業ではない。相談内容が複雑かつ高度な対応力を必要とするケースが多く、また障害者総合支援法により、相談支援の充実が求められている。	
	成果向上の余地	0 / 6								
	当該事業の背景、目的から判断すると、必ずしも目標値を設定した上で実施する事業ではない。相談内容が複雑かつ高度な対応力を必要とするケースが多く、また障害者総合支援法により、相談支援の充実が求められている。									
④ 成果指標から見る有効性 成果指標の目標達成状況は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A	2							
⑤ 事務事業の見直しの余地 成果を向上・安定させるため、事務事業の見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A	2							
効率性	⑥ 事業費の削減の余地 事務手順の見直しや正職員以外での対応により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2	6	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">コスト削減の余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 6</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 相談件数と相談にかかる時間、専門性等を考慮した場合、人件費分としては妥当であると考えられる。 </td> </tr> </table>	コスト削減の余地	0 / 6	相談件数と相談にかかる時間、専門性等を考慮した場合、人件費分としては妥当であると考えられる。	
	コスト削減の余地	0 / 6								
	相談件数と相談にかかる時間、専門性等を考慮した場合、人件費分としては妥当であると考えられる。									
⑦ 他の事務事業との統合・連携 類似又は関連事業との統合・連携により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2							
⑧ 民間委託等 民間委託・指定管理者・PFI等により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2							
公平性	⑨ 受益の偏り 現在の受益は公平か。特定の個人・団体に受益が偏っていないか	A 偏っていない B 多少偏っている C 偏っている	A	2	4	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">受益者負担適正化の余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 4</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 市条例に基づく事業であり、受益の偏りはない。 </td> </tr> </table>	受益者負担適正化の余地	0 / 4	市条例に基づく事業であり、受益の偏りはない。	
	受益者負担適正化の余地	0 / 4								
市条例に基づく事業であり、受益の偏りはない。										
⑩ 受益者負担の見直しの余地 現在の受益者負担は適切か。見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A	2							
現在の適性					20 / 20	改善の余地	0 / 20			

【点数化による検証】

当該事業の現在の適性は20点中 **20** 点です。

当該事業の改善の余地は20点中 **0** 点です。

【担当課長による評価】

当該事業の今後の方向性(選択) ※事業終了年度がH27の場合は回答不要 ⇒

現状のまま継続

方向性の理由 ※事業終了年度がH27の場合は回答不要

障害者総合支援法第77条第1項第3号で定められている必須事業であり、今後も継続していく。

今後の具体的な取組方策と狙う効果 ※事業終了年度がH27の場合は、『事業を実施したことにより今後見込まれる効果』を記載してください。

平成28年4月に障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の施行に伴い、相談支援事業の重要性がさらに高まると思われる。そのため、相談支援事業を継続することで障害者の日常生活や社会参加を支援する相談体制の充実につながる。